

# 育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内  
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

## 【児童・生徒の教育相談】

- \* 相談日・時間  
土・日曜日及び祝日を除く毎日  
AM9:00～PM5:00
- \* 場 所  
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105（直通）  
(秘密厳守)

## 【青少年の生活相談】

- \* 相談日・時間  
原則として月・水・金曜日とします  
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- \* 場 所  
千曲市役所 戸倉庁舎 3階  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）  
(秘密厳守)

### 今月の家庭の日 6月17日（日）

日頃、家族のために関わってくださっている全ての方に感謝すると共に、家族全員が一堂に会し、家族団らんの一時を過ごしてみましよう。

### メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp](mailto:youth@city.chikuma.lg.jp)

相談員がメールでお答えします。  
(秘密厳守)

## あいさつ運動

千曲市少年育成センター所長 上條 優

「おはようございます」と、さわやかなあいさつにふれたときは気持ちが良い。

四月十一日、埴生中学校で行われた「信州あいさつ運動」に参加した。この運動は、長野県将来世代応援県民会議が、「大人から子どもへあいさつをすることで、子どもたちを元気づけ、地域ぐるみで子どもの育ちを応援する。」ことを目的に、毎月十一日を「信州あいさつの日」と定め平成二十六年四月から行っており、当日は新生活のスタートにあわせて、県下一斉に行われた。

朝七時半、埴生中学校には、校長・教頭先生をはじめ県民会議、千曲警察署、少年補導委員、青少年サポーター、婦人会等の代表が玄関前に集まり、「おはようございます」のあいさつで登校してくる生徒を出迎えた。大勢の人の出迎えのあいさつに驚いた様子の生徒も、こちらからのあいさつに元気に答えてくれた。

生徒会役員も玄関前に整列をして元気よくあいさつをし、生徒会を中心に「あいさつ運動」に積極的に取り組んでいる様子が伺えた。

あいさつ運動は、市内のすべての小中学校で取り組み、それぞれ力を入れている。

人と人が出会うときに、すぐに用件を話し始めることは、よほどの場合以外はまずない。出会いやコミュニケーションのはじまりは必ずあいさつから始まる。心のこもったあいさつは、相手の心を開き、以後のコミュニケーションや人間関係を円滑にする上で重要な手段である。

家族や友だちはもちろん、隣近所などの身近な人や係わった人に気持ちの良いあいさつを、私たち大人から「あいさつ運動」を実践しましょう。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！  
— つくろうよ心がつながる家族の記念日 —

## ～ 5月の定例補導委員会議より～

5月9日に、定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

1. 千曲警察署生活安全課より：新潟の事案は千曲市と変わらない場所。むごい犯罪は地方でも普通に発生する。社会の不安感、一番は振り込め詐欺だが、次いで子どもへのいたずら・付きまとい。女性子どもが被害にあう事が増えてきた。パトロールの「声かけ」は、犯罪を防ぐ目的がある。不安感を払拭する上でも、補導委員の皆さんの協力をお願いしたい。  
※『何かあったらどこへでも駆け込み、大人に助けを求める』、このことの大切さを会議でも確認。
2. 4月の補導活動を振り返って：新任23名、再任7名、心を新たに活動を開始しました。
3. 5月から8月の補導日程について：定例補導巡回、環境チェック活動、合同補導
4. 有害環境浄化活動強化月間～環境チェック活動について～：7月4日～10日まで実施
5. 夏季休業中の各校PTAとの合同補導について：7月26日から8月6日まで実施



# 補導日誌から



### 交通事故と不審者が心配

4月16日（月） 3:00pm～5:30

戸倉小学校の校長先生と懇談しました。児童の交通事故と不審者が心配とのことでした。一年生は今日から引率なしで自力で下校するとのこと。地区によっては見守り隊の人がいなくなっており、どなたか見守り隊に入ってもらえればとのことでした。戸倉上山田中学校の校長先生との懇談でも、自転車の交通事故と不審者が心配とのことでした。そして、今の時代はスマホ使用によるいじめや、知らない人との出会い、メールのやり取りなど、学校や家庭でもわからない部分があり心配であるとのことでした。8月の新校舎オープンに向け、無事に過ごせるようご協力願いたいとの話があり、補導委員も新たな気持ちで巡回、生徒の皆さんにも声をかけていきたい旨伝えました。

### 子どもも地域も一緒に

4月17日（火） 3:00pm～5:30

土口方面からの通学は、道幅が狭く大変危険を感じます。守り隊も新たな成り手がなく、守り隊の会員が少なくなっています。守り隊の登録者が、従来より大分減っています。5月22日に東部地区子どもの安全を守る会が開催されます。補導委員にも出席の要請がありました。学校と地域が一体となって、子ども達の安全・安心を守っていくことを確認できました。東小学校の子ども達は、横断歩道を渡ったあと、「一時停止して下さった運転者に感謝の気持ちを込めて一礼」、を全員で励行しています。この日も礼儀正しい子ども達でした。

### 大人の正しい理解こそ

4月17日（火） 3:00pm～5:30

屋代中学校では、校長先生・生活指導の先生と懇談しました。親のお下がりとして携帯、スマートフォンを所有し始める子が多く、5月28日には講師を招いてLINEに関して指導を受けるそうです。親にLINEを正しく理解していただくことが大切で、親も参加だそうです。5月より部活の朝練が始まります。生徒の人数減に伴って、部の廃止や他校での練習等、新しい問題点が出てきているとのこと。最後は全員で音楽堂にて吹奏楽部の練習を見学させていただきました。ミーティングを行っており、部員各位真剣に討議をしておりました。

### 乗りたいんだ…気をつけて

4月20日(金) 4:00pm~6:00

新しい補導委員さんと、まずは五加児童館に行きました。たくさん子ども達が元気に外で遊んでいました。小船山公園で自転車で遊んでいた小3の女の子に声かけをしました。前日に交通安全教室があり、自転車に乗っても良くなったということだったので、元気よく乗っていました。気をつけて乗るようには注意しました。

### 和気あいあいと満足そう

4月20日(金) 4:00pm~6:00

快晴の一日でしたので、内川公園には子ども達が多く遊んでいました。6年生の男子2人と女子6名で、楽しく遊具の所で戯れていました。とても仲の良い友達に見えました。これからどんな遊びをするのか尋ねると、無邪気な顔で、「何をしようか。」との返事でした。和気あいあいと遊んでいるその時間は、子ども達の満足さにあふれていました。

### 注意されても素直です

4月20日(金) 4:00pm~6:00

3年生の女の子5人、ヘルメットを着用して自転車に乗って公園に遊びに来ていました。そこへ仲間の一人が、ヘルメットをかぶらないで後から公園に来ました。先に来ていた一人の子が、ヘルメットをかぶるようにと注意をしました。注意された女の子は、慌ててかごからヘルメットを取り出し、かぶりしました。注意した女の子、注意された女の子のそれぞれの対応には感心しました。子ども達に確認すると、学校で最近交通安全教室が実施され、学区内の自転車乗りにはOKの許可が出たそうです。区域外は親と一緒になければいけないとの返事でした。ハキハキとした答えであり、交通ルールを守る良い子ども達でした。親の躰が良いのでしょうか。

### 子どもは良く知っています

4月23日(月) 4:00pm~6:00

仙石地籍の花柄池で釣りをしている人がいるということで行ってみたが、誰もいませんでした。ロープが張られ禁止札が掲げられていました。これからの巡回のチェックポイントかもしれないと思いました。古代体験パークでは、4年生の男女が自転車で来てゲームで遊んでいたの声をかけました。大きな黒アリを見つけたので、「赤いアリは触らないよう」話すと、「アカカミアリでしょう。テレビで見た。」との回答。なかなかしっかきしていると感心させられました。

## 編集室の窓

### マスクを外すとき…その判断が尊い

姉妹都市、射水市との交流の一環として毎年行われている「海の生活体験交流会」、係留されている帆船海王丸での体験…。その事前学習会に参加した、ある子どもさんの動きが耳に入りました。

各学校の代表を決め、その中で2日間の役割を決めました。出発の会の代表挨拶…さすがに初めから立候補する子はいません。続いて交流会での挨拶…立候補がいました。そうしているうちに、希望がなかった「出発式での挨拶」を「それなら私がやります」という子が出てきました。じゃんけんやくじ引きをすることなく、話し合いで「それなら・・・」とすべての役が決まりました、さすがです。

誰がどの役なのか、発表することになりました。一人一人の自己紹介が始まりました。最後の子どもさんの番になりました。マスクをしていましたが、マスクを外して「児童クラブの皆さんにお礼の挨拶をすることになったY小学校の〇〇です。」と話し、再度マスクを着けたのだそうです。

マスクの着用は日常になり、必需品となった現代。マスク着用のままで様々なことが行われ、違和感もなくなってきました。「自己紹介のときはマスクを外す」そう教えられていたのか、時と場に応じた自分の判断なのか定かではありません。けれど、「自己紹介の場でマスクを外す」という6年生の立居振舞いは実に魅力的で、周囲の心を大いに動かしたようです。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

私は将来「やりがいのある仕事」に就きたいと考えています。給料が高くても、自分に合わない“つまらないと感じる仕事”に就くよりも、自分に合った“楽しいと思える仕事”に就いた方が充実した生活を送ることができそうだからです。私の中で「やりがいのある」で思いつくのは「学校の先生」です。小学校の時の先生を見て、なりたいたいと思いました。その先生はみんなを楽しませてくれることをたくさん考えてくれたり、休み時間に一緒に遊んでくれたりと、とてもいい先生でした。この時から、先生って楽しそうだな、やりがいがありそうだなと思い、先生になるという夢をもちました。先生になるためには、まず小さい子どもたちと多く関わるのが大切だと思います。僕には、いところに小さい子どもがいるので、その子とたくさん遊んで、その子が楽しめることを考えていきたいと思います。そして、子どもたちの気持ちを理解したり、楽しむことができる活動を一緒に計画したりして、子どもたちの心をつかめる「学校の先生」になりたいです。

(1年 菅原 羽琉)

僕の夢は二つです。まず一つ目は「大工」です。なりたいたと思ったきっかけは、お父さんがいつもいろんな道具を使って、いろんな物を作っているのを見てなりたいたと思いました。また、知り合いの人が家を造っているのを見て、カッコいいなと思ったので大工になろうと思いました。二つ目は「学校の先生」です。きっかけは、小学校の時に三人のとてもいい先生に出会ったことです。そして卒業式の時、先生から「これから最高のクラスを作っていくのは自分」という言葉を聞いて、僕は学校の先生になろうと思いました。

(1年 神田 悠佑)

私の夢は、「獣医師」になることです。私が獣医師になりたいと思ったのは、小学校3年生の頃からです。最初は、動物が好きなので動物に関わる仕事がしたいという簡単な思いでした。しかし、犬を飼い始めてその犬が病気になってしまい、とても不安に感じていたとき、獣医師さんが一生懸命対応している姿を見て、「すごいな」「カッコいいな」と感じました。もともと動物が好きだった私は、このように困っている動物たちを助ける仕事っていいなと感じていました。そこから私は獣医師になりたいという思いを強く持つようになりました。獣医師になるためには、様々な知識を身につけなければなりません。そのためにも勉強を頑張り、より多くの知識を身につけ、どんな動物でも命を助けるために一生懸命になれる獣医師になりたいと強く思っています。この思いは私の中でとても輝いています。

(1年 正木 蓮)